



# 予防が一番 鷺見和恒(中央区)

長い入院生活は、ついテレビ漬けの毎日となってしまう。時代考証が全くなっていない杜撰(ずさん)な脚本、演出に腹を立てながら、無駄に時を過ごしている。時折、放映される口腔衛生関連の画面には、つい見入っ

てしまうのは、元歯医者としてのせい。また、ペングリップで睡(まつげ)の手入れでもしているかのような仕事で、盲室内のプラーク粒を清掃している凶など、誇張も程ほどに願いたい。

休日診療所に動員されることがある。だが、事故や急性発作などを除くと、大半は予防概念の不

足、日常の管理努力などに問題が多い。一隅に灯を点し続ける努力も大変だが、予防が一番だ。改めて、啓蒙活動の重要性を考えたいものだ。

「暗い時代」の象徴だ。戦中派を受けた教育は、登校するとまず奉安殿を礼拝し、「日の丸」には最敬礼、「君が代」は起立斉唱、御真影には脱帽と姿勢を正すことが強制され、暴力による制裁は日常茶飯事の下、

この条例については、府教育委員会も「重い処分に従わせるより、粘り強い指導が必要である」と言っている。教育委員会は、国民を戦争へ駆り立てるため教育が時の権力に利用されたことへの反省から、政治に左右されず、地域住民の意向も反映する学校教育を実現するため、1948年公選制で発足した。しか

ら、かけ離れた方向へ進んでいる。それに拍車をかけるのがこの条例だ。

戦に敗れて70年が近づき、「暗い時代」を知る者も減り、人々は意識して過去と向き合うより、過去から決別しようとの思いが高まる一方、不景気に加え、ごたごた続きで指導力に欠ける政界と、突如襲った大震災に、社会は閉塞感で覆われ、「何か変化を」と求める民衆の願望を見逃さず、ポピュリズムの権化

知事橋下は、アドバルーンを上げると共に、直前の選挙では、一切触れず突如議会に提案し、ろくな審議もなしに、いきなり可決したのがこの条例である。1999年「国歌・国歌法」成立の際、時の首相は「押しつけな



# 桜の樹の下で 久松聡(高槻市)

炎暑の中、桜の樹の緑陰に安らぎながら、季節の移ろいに想いを馳せる。今、天上へ届けとばかり生い茂った枝葉は夏疲れからか、うなだれている。冬の時、葉っぱを全て落とした木の枝には、ごく小さな花芽をつけている。待春の象徴としての蕾(つぼみ)が少しずつふくらんで開花。桜花爛漫に酔い、落花の風情を楽しんでることが夢のようにある。今が盛り

の低下につれて紅葉。そして晩秋、その役割を終えて散った落ち葉の色彩は、陶芸の深い色あいに通じる。桜の魅力は、寒さに縮

らほみ出ている日当たりの良いところには花が咲いていたのである。また、余りから聞いた話では、エビネランは半陰半陽で花芽をつけるのに、傍の大きな樹が枯れたために日陰を失って咲かなくな

ったそうである。花芽が出来るためには、剪定の部位や時期は言うまでもなく、日当たりと日陰の陰と陽の加減も条件であることが分かったたので、早速、梅と桜をばっさり剪定することになった。

桜の樹とは違って、限られた土地空間での庭木の剪定は、樹冠の内部にも目を入れて新芽を出させ、樹木の大きさを一定に保ちつつ、隣り合う樹との共存共栄を図ることである、改めて思う。



# 21世紀の歯科

20世紀の医療と歯科医療が限界にきていた。21世紀も約10年が過ぎようとして

悪いところ、歯科の良いところや悪いところが見えてくる。全体的な病気の原因の一つに、歯科医療の悪いところや関係しているケースが多

先日、堺の鰻料理屋に行ったが、まだ19時なのに「今日はもう全部出でしましました」と言われ

た。今年も国産モノも品薄だと聞いていたが、ウナギ好きの私としても初めての経験であった。

ウナギと言えば、50数年

最近、たまたま行ったホームセンターのペット売り場の水槽で、驚いたことにあのウナギとそっくりの少し大きめの子ウナギが1匹1000円近い値段をつけて泳いでいるではないか。何でも売りにする店の商魂もさることながら、今思えばあのウナギはやはり本物のウナギだったのだと旧友に会った様ななつかしい感動を覚えた。

あの頃は何か知らなかつたと言え、はるばる南の海から戻って道端に捨てられた子ウナギたちには、何とかわいそうなことをしたものだという気持ちと昔の夏の日のご

## 会員投稿

9月17、18日に熊本県で開かれる第26回保団連医療研究会で発表する。病気には、必ず原因

除くとたちまち元気になったケースが多

先日、堺の鰻料理屋に行ったが、まだ19時なのに「今日はもう全部出でしましました」と言われ

た。今年も国産モノも品薄だと聞いていたが、ウナギ好きの私としても初めての経験であった。

ウナギと言えば、50数年

最近、たまたま行ったホームセンターのペット売り場の水槽で、驚いたことにあのウナギとそっくりの少し大きめの子ウナギが1匹1000円近い値段をつけて泳いでいるではないか。何でも売りにする店の商魂もさることながら、今思

あの頃は何か知らなかつたと言え、はるばる南の海から戻って道端に捨てられた子ウナギたちには、何とかわいそうなことをしたものだという気持ちと昔の夏の日のご